

Product Information



KaVoソニックフレックス エアスケラー

確実で優しい歯肉縁上および歯肉縁下での歯石除去、インプラント体のクリーニングなど幅広い症例に使用できます。振動が少ないため、痛みに敏感な患者さんにも適しています。

- 軽く1回ひねるだけで簡単かつ迅速にチップの交換が可能(2008シリーズ)
- 明るく均質で最適な照度をもたらす高性能ライト(25,000LUX)
- 調節可能なパワーレベル(3段階)
- 優れた静音性とバランス



KaVoプロフィーフレックス4

KaVoプロフィーパール・プロフィーフレックスパウダー

健康な歯と明るい笑顔のために必要なKaVoの歯面清掃システムには、操作性に優れた歯面清掃用器具と効果的な歯面清掃用パウダー(プロフィーパール、プロフィーフレックスパウダー)があります。

- **KaVoプロフィーフレックス4**
パウダーの飛散を抑制し、歯面にやさしいクリーニング
- **KaVoプロフィーパール**
球状の粒子により、効果的で快適な処置



KaVo スマートマティック プロフィー S31/S33

Kerr プロカップ・クリニーク チューブ

KaVoとKerrの組み合わせにより、優しくかつ効果的なポリッシングを実現します。

- **KaVo スマートマティック プロフィー S31/S33**
小型ヘッドにより優れた可視性と操作性。優れたバランスで軽量。70°の反動運動(S33)
- **Kerr プロカップ**
螺旋状のリップによりペーストの飛散を防止、隅々まで届きやすいカップサイズ
- **Kerr クリニーク チューブ**
ステイン除去から最終研磨まで行えるオールインワンタイプのプロフィーペースト

Customer Information



日米歯科衛生士

藤森 直子 先生

略歴

独協大学外国語学部フランス語学科 卒業
アポロ歯科衛生専門学校 卒業
ニューヨーク大学歯学部衛生科 卒業
日米ダブルライセンス 保持
エイチ・エムズコレクション インストラクター衛生士

KAVO
Dental Excellence

カボデンタルシステムズ株式会社

本社 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 Tel.03-6866-7480 Fax.03-6866-7481
札幌支店: Tel.011-716-4694 Fax.011-716-4692 仙台支店: Tel.022-772-7375 Fax.022-772-7376
東京支店: Tel.03-6866-7480 Fax.03-6866-7481 名古屋支店: Tel.052-238-1146 Fax.052-238-1567
大阪支店: Tel.06-7711-0450 Fax.06-7711-0451 福岡支店: Tel.092-441-4516 Fax.092-472-1844
<http://www.kavo.jp>
VITFJB1911V1 INS-098

KaVo Kerr PMTC Products

Welcome to
The World of Smile.



歯周治療の効果は施術スキルに加え、 最適な機器や材料の選択で決まる!

～長期的に良好な口腔内環境を維持する為のメンテナンス～

日米歯科衛生士

藤森 直子 先生



KAVO
Dental Excellence

Introduction

1人1人の患者さまのために

私のクリニックと同じように1日のはじめりにチーム全体でミーティングをする現場が多いと思いますが、まず私は全体での話し合いに入る前に、必ずその日に来院される自分の患者さまのカルテ全てに目を通し、再確認することからはじめています。

そして1人1人の患者さまの健康状況から今回の来院の意味を考え、口腔内の状況とあわせてメンテナンス内容を再度確認・設定します。

メンテナンスの基本的な流れとしては **I 診査診断** から始まり、**II 患者教育**、**III 施術**、**IV 満足度アップ**。

この流れで特に問題がなければ、基本的な流れを設定していきます。

毎回の患者さま教育の際には、患者さまと一緒に設定している間近のゴールを目指し、今回挑戦してもらう課題（例えば、100%歯ブラシがゴールだった場合には補助用具の提案など）、歯科への理解レベルとパーソナリティにあった伝え方やタイミングも事前に考察しておきます。

I

診査診断

原因を突き止めることこそがゴール

診査診断では必ず口腔内外診査からはじめ、カルテに問題点を記入しておきます。プローブによる精密検査（6点法）を行い、初診から前回までの変化と比べて問題的があれば、原因追求▶解決へと向かわせていきます。

あらゆることに対して原因を突き止めることこそがゴールに近づく最良の手段だと考えるため、全身的な健康状態も問診からインボディを使って理解し、全身疾患や咬合状態などの診査も歯科医師、栄養士、歯科チームメンバーの総力をあげて把握していきます。

II

患者教育

気持ちや生活習慣を変えるための教育

「なかなか患者さまが変わらない」、「意識が低い」、「メンテナンスに来院されない」、「ホームケアや補助用具が定着しない」など、全ては私の責任だと考え、絶対に諦めないこと、また、学びとして話術や心理学などを取り入れるなど、1番努力する所でもあります。

なぜなら、ここに力を入れて生活習慣を変えていかなければ、メンテナンスの日だけが理想的な清掃状態であり、残りの私がお会いできない長い時間を変えていかなければ最終的なゴール、**良好な口腔状態を長期にわたり維持**するということに到達することが難しくなるからです。



III

施術

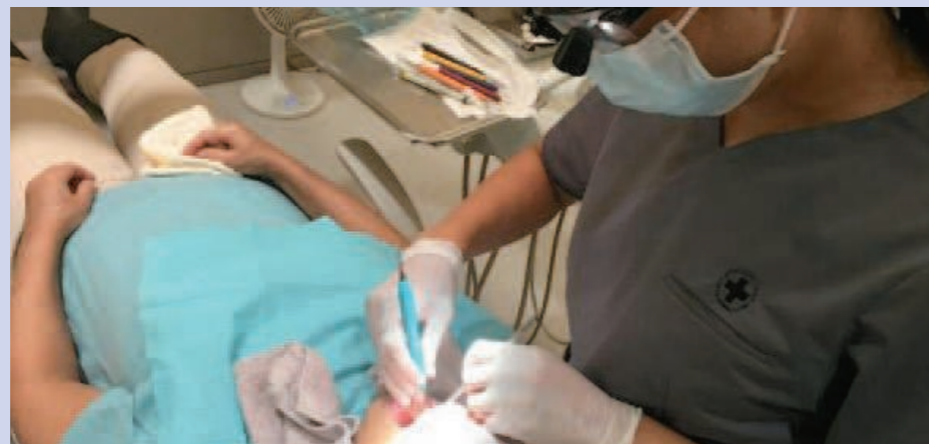
1歯1歯の状態を把握し、 それぞれに適した施術を行う

施術は口腔内全体に歯面清掃（エアーポリッシング）やエアースケーラーや超音波スケーラー、同じペーストでの研磨（ポリッシング）を行うことはせずに、口腔内や補綴物の状態などによって1歯1歯の状態に適した施術を行うことが真のメンテナンスだと考えます。

そのためには毎回の精密検査の結果も必要になり、ゴールは口腔内を良好な状態で長期に維持していくこととなります。触らなくてもよい箇所（＝セルフケアとプロケアのバランスが確立され良い状態が維持できている部位）は極力ホームケアグッズで歯を守っていきます。あえて落ち着いている歯周組織に歯面清掃（エアーポリッシング）を行ったり、必要ない薬物は使用しません。バイオフィルムの形成時間を考えても、その場の除去より私の見えないメンテナンス期間マイナス1日のmajorityの大切な時間に何をしていくかに重点を置いて考え出していく、一緒に頑張っていく患者さま自身に理解をしていただくよう丁寧にお話をします。

メンテナンスでの歯面清掃器（エアーポリッシング）の使用に関しては、炎症ある部位や歯周ポケットに向けては禁忌です。傷だらけの不安定な歯肉にはデリケートな治療を行う必要があり、歯肉に局限した炎症に関してはフロスやスケーラー、イリゲーション、ホームケアグッズにSPTガーグルなどあわせてマスティックペーストによる歯肉マッサージなど個々の患者さまにあわせた方法で解決していきます。

インプラント周囲粘膜炎に関しては、天然歯の炎症と比べると進行が愕然的に早い傾向があるため、7～10日後の再来院をしていただき、確実に炎症を抑えることに努めています。



IV

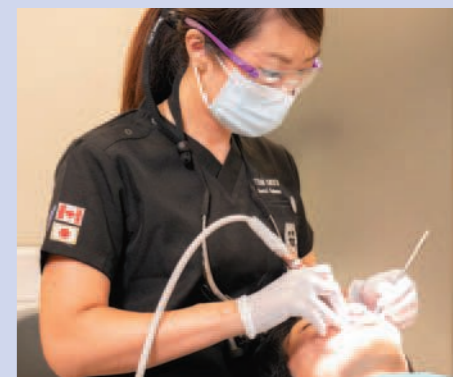
満足度アップ

心理学的モチベーションを上げ、 満足度をアップさせる

ここでも 心理学的モチベーションを上げる要素をふんだんに取り入れ、リコールの必要性を強く感じて満足してお帰りいただくクライマックスで大切なプロセスです。

最後に必ず患者さまからポジティブな言葉がもらえるよう力を入れる最終過程となります。

口腔内のリスクによって、歯面パック・歯肉マッサージ・リップエステやリンパマッサージなどを選択して提供しています。まずは大まかな歯石をKaVo ソニックフレックスエアースケーラーで**優しく効果的**に落としていきます。管理できている患者さまのSPTの場合、**優しいタッチで痛みの少ない** KaVo ソニックフレックス エアースケーラーの使用が患者さまの満足度を上げています。無理なく使用し、細かい歯石はハンドスケーラーを使用して歯面を傷つけないよう、確実に除石をしていきます。その後、キャビテーション効果を期待して再度エアースケーラーを全体に当てていきます。



落とすきれなかったステインについては、歯面に対して30°～60°、3～5mm離しながら、歯面清掃器KaVo プロフィーフレックス4を使用して歯面を**滑沢に綺麗**に仕上げていきます。



綺麗に除石とステイン除去が終わった時点で口腔内の状況にあったペーストを選択し、研磨(ポリッシング)を行います。ペーストの効果を期待するため、しっかりとペーストを**カップ内に長く把持し、飛散が少ないKerr プロカップ**を使用します。特に問題のない患者さまに対しては、歯面の**細かい傷を埋めるKerr クリニック チューブ**を使用します。また、アレルギーが心配な患者さまに対しては、Kerr クリニック チューブ ライトを使用します。



最後にフロスを通します。この際、炎症が見られた患者さまに対しては、フロスを炎症止めの薬液に通してから全体に通していきます。

最後に満足度を上げる施術を行います。その前に実際の施術に対する満足感を感じてもらうため、鏡と口腔内カメラでの術前術後の画像を比較してもらうことを必ず行います。



Conclusion

最高のメンテナンスを提供するために

メンテナンスはプロケアとセルフケアのバランスを十分にとり、口腔内の環境をいかに長く良好な状態を保つということが私と患者さまとのひとつのゴールだと考えております。

定期的に通院していただくことが習慣化となり、私たちが生活の一部として考え、必要としてくれることもゴールだと考えております。

これからも最高のメンテナンスを受けていただけるよう日々学び、精進していくことが必要だと強く感じています。そのためには精通したスキルも重要ですが、同時に使用する機器や材料も患者さまごとの口腔内にあったものを提供していくことが必要だと考えています。

